

社会にも大きく影響、特に地方で影響大です。

もう一つは地方自治体の消失不安で、既に地域社会のインフラ維持は困難度を増し、都市計画分野では地域を畳む方策の議論が激しく、自治体の首長は人口減少、即ち税収の減少・働き手の減少・消費者の減少という三重苦の中で経済振興を進める困難を思い知らされています。

私は九州地域で、危険だが補修の余力が無く放置された多くの橋を見て来ました。そのような状況下では地域に根差したイノベーションに渾身の工夫を凝らすことが重要ですが、なかなか厳しい条件下でのイノベーション創出は辛いものがあります。

・知財権研究会によるオーガナイズドセッション『【OSー知財権研究会】

知的財産専門委員制度とビジネスコート どう捉え応援するか』は、リエゾン活動の重要性も然りながらその成果たる知的資産・知的財産の活用運用が勝ち残るためには極めて重要なことを前提に、本学会が果たせる役割を考えつつ知的財産専門委員制度の活用や積極的な参加も考えます。

・イグイノベーションコンテスト事業研究会と中部北陸支部によるオーガナイズドセッション『イグイノベーションコンテスト事業を検証する～イグイノベーション提案『就学年齢5歳で大学院 MC までを 20 歳で修了』を検証する』は、イグイノベーションコンテスト事業の模擬試行として、参加者と共に多角的な掘下げを試みます。最早や思い切った発想・大胆なアイデア・タブーに挑戦する姿勢で果敢にイノベーションアイデアを磨き上げることが重要だと思われま

根本原因たる少子化対策も常套手段の羅列を言う政府は何の効果も挙げられず、少子化は継続してどうにもならない段階まで至りました。

いずれにせよ出生数 70 万人を切った今、何もしない訳には行かない時です。手を拱くことなく果敢に変革に挑む姿勢が求められるのではないのでしょうか？

会員の皆様のお知恵を拝借する機会でもあるオーガナイズドセッションに多くのご参加を戴き、少しでも有効なイノベーションアイデアの手掛りを得たく、皆様のご参加を心からお願い申し上げます。

お問い合わせ

産学連携学会第23回大会 函館大会実行委員会事務局
(国立大学法人北海道大学地域水産業共創センター内)

E-mail:sangaku2025hakodate-rfc@fish.hokudai.ac.jp

Tel:0138-40-5039

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、
産学連携に関する情報をお流しいたします。
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、
産学連携学会事務局 (j-sangaku@j-sip.org) までご連絡ください。